



当社グループにおける再発防止の進捗について
(第5回)

2024年6月18日

日本軽金属ホールディングガス株式会社

1. 調査結果および再発防止の報告・共有

(1) 従業員説明

(2) 顧客説明

(3) 責任の所在

(4) 未調査事業所の調査

2. 経営改革の推進

(1) グループ・ガバナンス体制の再構築 - グループ連携の強化

(2) 当社とグループ会社の関係再構築

(3) グループでの経営課題・リスクへの対処

(4) 営業・開発・製造・品質保証・各部門による組織横断的な対応

(5) 品質保証体制の再構築

① 当社品質保証体制の強化

② 品質監査の強化

③ グループ全体での品質保証体制の強化と整備

④ グループ子会社間の協力と相互牽制の体制整備 ※④については③と統合

⑤ 品質保証機能への経営資源投下

(6) 不断の検証

(7) 当社取締役会による監督強化

3. 内部統制機能の強化

(1) 取締役会の監督のもとでの、実行的な内部統制システム構築・運用

(2) 企業風土の改革

(3) 情報の報告・連携の強化

(4) コンプライアンス強化活動の推進

(5) 内部監査部門の強化

(6) 内部通報制度改革

(7) 外部リソースの活用

- 特別調査委員会の調査によって報告された不適切行為214件につきましては、2024年4月25日を持ちまして、すべての是正が完了しました。
- 安全性につきましては、自社検査や自社評価により当社として全ての不適切行為事案で影響がなかったと判断しておりますが、最終的にお客様に説明のうえ、ご判断いただくよう進めております。

説明状況	対象	説明済	(うち) ご了承済
お客様数 (延べ会社数)	4,106社	4,106社	4,092社 (99%)

(2024年6月11日付)

- お客様への説明を引き続き真摯に対応してまいります。

JIS認証の取得について

- 品質に係る不適切行為を受けて、認証機関の臨時審査によって、JIS認証の取消しとなっていた事業所については、それぞれ是正を進め、JIS認証を取得しました。
日本軽金属(株)名古屋工場 (JIS H 4000) 〈取得日2024年4月12日付〉
日軽新潟(株) (JIS H 4040, JIS H 4080, JIS H 4100) 〈取得日2024年4月25日付〉
- 日軽蒲原(株)および日軽形材(株)におけるJISマーク使用停止請求につきましても、すでに使用停止は解除されております。

なお、JIS認証製品としてのJISマーク表示の再開につきましては、今後順次実施してまいります。

未調査事業所の調査および是正の完了

- 特別調査委員会による調査の対象外であった国内（1社2事業所）、海外（8社11事業所）の調査を、外部機関と共同により実施しました。（調査方法：アンケート、インタビュー、サンプリング）
- 不適切行為（※1）として10件が発見されました（うち製造・検査等による不適切行為は9件）

国	会社・事業所名	不適切行為の分類				合計
		製造方法	試験・検査方法	試験・検査結果の取扱い	報告・公表	
日本	静岡興産・蒲原事業所		1			1
	静岡興産・清水事業所					
	日軽エムシーアルミ・本社（※2）				1	1
アメリカ	Nikkei MC Aluminum America		1			1
メキシコ	T. S. T. Nikkei					
タイ	Nikkei MC Aluminum Thai Wellgrow			2		2
	Nikkei MC Aluminum Thai Sriracha		1			1
	Nikkei Siam Aluminium SHEET&FOIL DIV.			1		1
	Nikkei Siam Aluminium HEAT EXCHANGER DIV.					
	Nikkei Siam Aluminium PANEL DIV.					
	Fruehauf Mahajak					
中国	華日軽金（蘇州）精密配件			1		1
	華日軽金（深圳）					
	日軽商菱鋁業（昆山）		2			2
	合計	0	5	4	1	10

（※1）不適切行為の内容は、法令違反ではなくルール違反等に該当します。

（※2）日軽エムシーアルミ・本社は、海外事業所の調査にて発見されました。

未調査事業所の調査および是正の完了

- 本件に関わった関係会社役員の処分については、精査の上、実施いたしました。

会社・事業所	不適切行為	是正措置	是正時期
静岡興産・蒲原事業所	測定機器の校正不実施	定期校正の実施	2023/11
日軽エムシーアルミ・本社	「ガス量の測定値の改ざん」の不報告	事案の共有とHDへの報告	2023/3
Nikkei MC Aluminum America	材料品質検査の不実施	生産管理システムに不実施警告機能を追加	2023/9
Nikkei MC Aluminum Thai Wellgrow	ガス量の測定値の改ざん	再教育の実施	2023/12
Nikkei MC Aluminum Thai Wellgrow	検査結果承認前の出荷	出荷手順の変更	2024/4
Nikkei MC Aluminum Thai Sriracha	検査方法違反	作業標準の変更と再教育の実施	2023/12
Nikkei Siam Aluminium SHEET&FOIL DIV.	品質検査結果の改ざん	再教育の実施	2023/12
華日軽金(蘇州)精密配件	不合格品を出荷	不合格品の処理基準の追加	2024/3
日軽商菱鋁業(昆山)	材料品質検査の不実施	責任者の承認を手順に追加	2024/5
日軽商菱鋁業(昆山)	測定機器の校正不実施	定期校正の実施と校正ルールの変更	2024/4

再発防止策概要〈経営改革の推進 1/3〉

再発防止策概要の詳細につきましては、添付資料「[表2] 再発防止の進捗 (2024年6月版)」をご参照ください。

【進捗状況凡例】 「完了」対策が完了 **完了** 2024年6月報告（第5回）にて完了したもの
完了 前回報告までに完了したもの

「実施中」対策を開始し実施中

「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中

「検討中」対策の方向性・内容等を検討中

【完了目標】 見直し・更新・訂正した項目を **オレンジ色** にて記載

	【進捗状況】	【完了目標】
(1) グループ・ガバナンス体制の再構築 -グループ連携の強化-		
子会社のグルーピング	実施中	2025年3月
(2) 当社とグループ会社の関係再構築		
グループ間連携強化によるシナジーの創出	完了	2023年8月
(3) グループでの経営課題・リスクへの対処		
グループ横断的なリスクマネジメントの取組み強化	完了	2024年3月
(4) 営業・開発・製造・品質保証・その他部門による横断的な対応		
実現可能性を科学的・合理的に検証・判断でき、営業・開発・製造・品質保証が合意できる ルール・体制づくり（新規受注時・4M変更時の対応強化）	完了	2022年4月
営業・開発・製造・品質保証部門間での組織横断的対応（上市後の対応強化）	完了	2023年12月

(5) 品質保証体制の再構築	【進捗状況】	【完了目標】
<p>① 当社品質保証体制の強化（品質保証統括室の独立性・権限の強化） 室長の専任役員化 室長サポート体制整備</p>	<p>完了 完了</p>	<p>2023年3月 2023年5月</p>
<p>② 品質監査の強化 品質監査の体制・ルールの整備 定期監査 フォローアップ監査 JIS監査</p>	<p>完了 完了 完了 完了</p>	<p>2023年4月 2024年1月 2023年8月 2024年2月</p>
<p>③ グループ全体での品質保証体制の強化と整備 独立性と権限の強化 体制・ルールの整備 構成員の人事評価見直し グループ各社・事業所のグループ化 情報の共有化 機構改革</p>	<p>完了 実施中 検討中 完了 完了 完了</p>	<p>2023年10月 2024年10月 2025年3月 2023年6月 2023年6月 2023年3月</p>
<p>⑤ 品質保証機能への経営資源投下 適正人員の把握の指導・支援 人員補充・育成計画策定、実行の指導・支援 検査プロセスの点検と整備 検査機器の自動化推進</p>	<p>実施中 完了 完了 実施中</p>	<p>2025年3月 2024年3月 2024年3月 2025年3月</p>

再発防止策概要 〈経営改革の推進 3/3〉

(6) 不断の検証	【進捗状況】	【完了目標】
<p>再発防止策の検証 当社社長直轄の「改革推進室」を設置、活動開始 進捗管理および効果検証、進捗状況の公表</p>	<p>完了 実施中</p>	<p>2023年4月 2026年3月</p>
(7) 当社取締役会による監督強化		
<p>計画的な後継者育成・登用 取締役会運営面での改善</p>	<p>実施中 実施中</p>	<p>2025年6月 2025年6月</p>

再発防止策概要〈内部統制機能の強化 1/3〉

(1) 取締役会の監督のもとでの、実効的な内部統制システム構築・運用	【進捗状況】	【完了目標】
実効的な内部統制システム構築・運用「内部統制システム整備の基本方針」改定 取締役会による監督	<div style="text-align: center;">完了</div> <div style="text-align: center;">完了</div>	2023年4月 2023年11月
(2) 企業風土の改革		
① 経営方針等の見直し・再定義 「グループ経営方針」改定 「行動理念」策定 「行動規範（グループ・コンプライアンスコード）」改定 ② 新しい企業理念が役職員へ浸透、定着するための取組み 経営者-従業員の対話（拠点長会議・職場行脚） 浸透、定着のモニタリング（匿名従業員サーベイ3回目以降） ③ 忌憚なく声を上げられる風土づくり 経営者-従業員の対話（品質行脚） 経営者-従業員の対話（拠点長会議・職場行脚） ④ 企業風土改革のモニタリング 匿名従業員サーベイ（3回目以降）	<div style="text-align: center;">完了</div> <div style="text-align: center;">完了</div> <div style="text-align: center;">完了</div> <div style="text-align: center;">実施中</div> <div style="text-align: center;">実施中</div> <div style="text-align: center;">完了</div> <div style="text-align: center;">実施中</div> <div style="text-align: center;">実施中</div>	2022年5月 2023年4月 2023年4月 2026年3月 2026年3月 2022年7月 2026年3月 2026年3月

再発防止策概要〈内部統制機能の強化 2/3〉

(3) 情報の報告・連携の強化	【進捗状況】	【完了目標】
<ul style="list-style-type: none"> ① 声を上げる会議（拠点長会議） ② 社長と従業員の対話（職場行脚） ③ コンプライアンス・ミーティングの活性化 ④ レポートラインの明確化、実効性向上 ⑤ 速報システムの見直し ⑥ 管理職への研修強化（学習管理システム導入等、e-ラーニング開始） 	<p>実施中</p> <p>実施中</p> <p>実施中</p> <p>完了</p> <p>完了</p> <p>実施中</p>	<p>2026年3月</p> <p>2026年3月</p> <p>2025年9月</p> <p>2024年3月</p> <p>2024年3月</p> <p>2024年9月</p>
(4) コンプライアンス強化活動の推進		
<ul style="list-style-type: none"> ① 調査報告書公表の日を「品質の日」とする ③ コンプライアンス教育の強化 <ul style="list-style-type: none"> 適用法令違反「重点対策リスク」指定 新/改定法令等情報モニタリングと展開の体制 グループ子会社の法令等遵守管理体制 品質コンプライアンス教育・23年度講演会 	<p>完了</p> <p>完了</p> <p>完了</p> <p>完了</p> <p>完了</p>	<p>2024年3月</p> <p>2023年11月</p> <p>2023年9月</p> <p>2023年9月</p> <p>2024年3月</p>
(5) 内部監査部門の強化		
<p>第3ラインによる第1・第2ラインの監査 監査結果の取締役会・監査役会報告</p>	<p>実施中</p> <p>完了</p>	<p>2026年3月</p> <p>2023年11月</p>

再発防止策概要〈内部統制機能の強化 3/3〉

(6) 内部通報制度改革	【進捗状況】	【完了目標】
通報者保護等の強化 内部通報制度改定 内部通報制度専用情報管理システム導入 内部通報制度の周知、啓発 アクセシビリティ向上	完了 完了 完了 完了	2022年6月 2022年4月 2022年6月 2023年5月
(7) 外部リソースの活用		
専門人材の登用 外部サービスの利用	完了 完了	2023年9月 2023年6月

経営改革の推進 骨子策定

● グループ・ガバナンス体制の再構築等と取締役会による監督強化にむけて着手

2023年3月

品質不適切行為に関する会社報告書 経営改革の推進

- (1) グループ・ガバナンス体制の再構築
ーグループ連携の強化
- (2) 当社とグループ会社の関係再構築
- (3) グループでの経営課題・リスクへの対処
- (4) 営業・開発・製造・品質保証・
その他部門による組織横断的な対応
- (5) 品質保証体制の再構築
- (6) 不断の検証
- (7) 当社取締役会による監督強化

2023年5月

23中計

基本方針

1. 新生チーム日軽金への取組み
グループの企業価値向上のための構造改革
カーボンニュートラルへの対応
経営改革の推進および内部統制機能の強化
2. 社会的な価値の創出に寄与する商品・ビジネスの提供
・お客様ニーズを満足する商品・ビジネスの提供
サプライチェーン・ライフサイクル
・全体を通じた多様な商品・ビジネスの提供
社会的課題を解決するためのグループ連携体制の強化

経営改革の骨子

2024年6月25日実施予定日

事業・機能組織
のグルーピング



取締役会の
監督機能強化



(参照) 2024年5月15日公表資料
p2024051505hd.pdf (nikkeikinholdings.co.jp)

経営改革の推進 骨子概要

事業・機能組織のグルーピング



- 当社グループの組織構造の課題「分権型統治」からグループ連携が可能な組織構造へ
- ➔ 市場分野・プロセスが近接する事業（グループ会社）・機能を「グルーピング」

社長	事業グループ(新体制)	構成する子会社・事業部	事業・市場分野
	■ 化成品事業グループ	日軽金・化成品グループ、日本電極 他	アルミナ・化成品、炭素製品
	■ メタル事業グループ	日軽金・メタル事業部、日軽エムシーアルミ 他	一次地金・二次合金(再生地金)
	■ 軽圧事業グループ	日軽金・板事業部、日軽金アクト 他	板製品、押出製品
	■ エンジニアリング事業グループ	日軽パネルシステム、日軽エンジニアリング 他	パネルシステム・景観エンジニアリング
	■ 輸送機器事業グループ	日本フルハーフ 他	トラック架装
	■ 自動車部品事業グループ	日軽金ALMO 他	自動車部品
	■ インフラ事業グループ	日軽金・蒲原製造所/苫小牧製造所、日軽物流 他	工場インフラ、物流
	■ 箔事業グループ	東洋アルミニウム 他	箔、粉末製品、日用品

当社執行役員が「事業グループ長」を担い、当社グループの企業価値最大化を前提に事業グループの収益力・事業価値最大化を果たす

機能組織(新体制)

社長

● 改革推進室

● 品質保証統括室	品質保証、製品安全
● 技術・開発統括室	技術・開発、研究
● マーケティング&インキュベーション統括室	商品開発、事業・商品創出、M&A
● サステナビリティ推進統括室	CSR、監査、法務、労働安全、環境
● コーポレートスタッフ統括室	人事、総務、経理、購買
● 企画統括室	経営企画、情報システム、広報・IR
● カーボンニュートラル推進室	

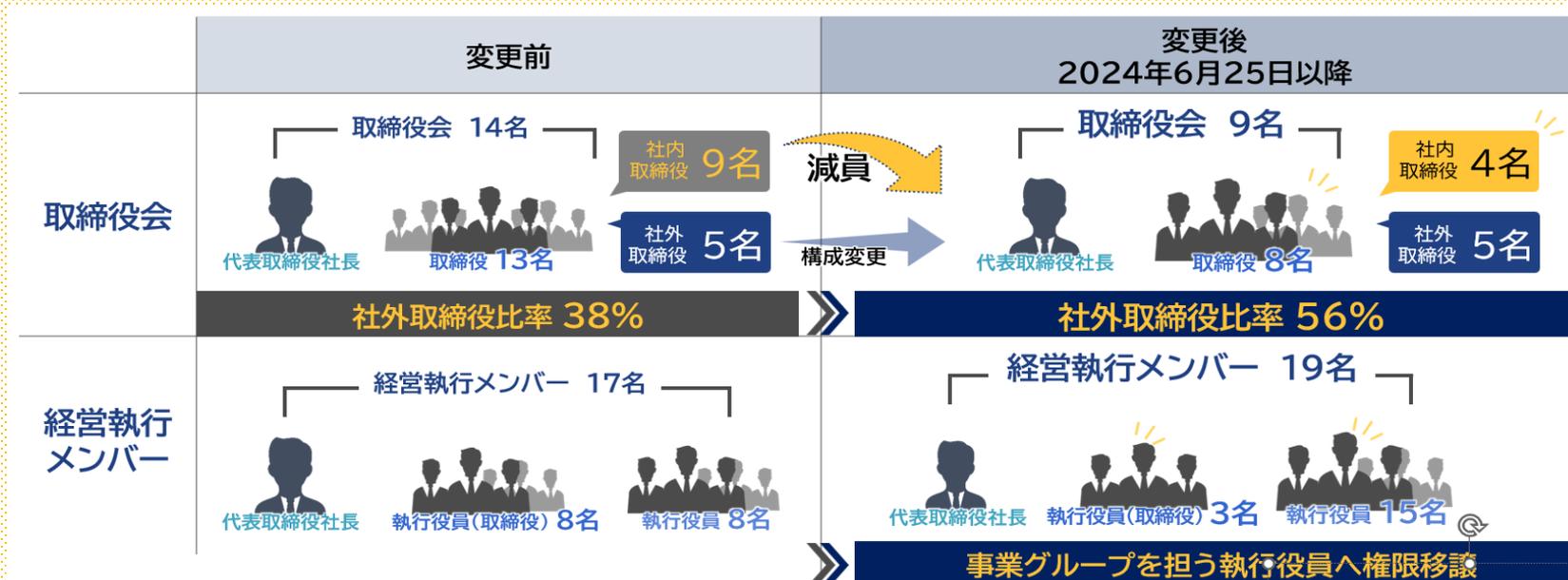
ガバナンス・品質・安全の強化、社会的な価値の創出に寄与するサステナビリティ・カーボンニュートラルに加え、新事業・新商品開発を統合的に推進する

経営改革の推進 骨子概要

取締役会の 監督機能強化



- 企業価値最大化のためのグループ戦略策定を中心とした監督機能に専念
 - 社外取締役比率 50%超、取締役による事業グループを担う執行役員との兼任廃止
- ➔ **戦略的意思決定の強化とスピードアップ**

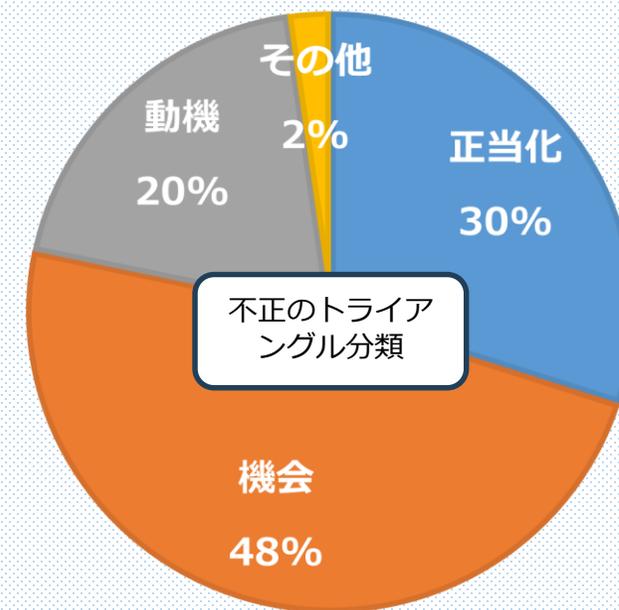


開かれた企業風土の醸成 『品質の日』取組み

- 当社発信の実施事項
 - ・トップメッセージ配信
 - ・品質コンプライアンス講演会
テーマ『違反事例とコンプライアンス』
 - ・ケーススタディによる職場討議『あなたならどうする』実施
 - ・品質ワンフレーズ「正直になろう。正直にやろう。」
シール活用による浸透活動



職場討議ケーススタディ



開催<619職場7,024名参加>
不正のトライアングル分類『機会』についての
ケーススタディが数多く議論されました。

忌憚なく声をあげられる風土づくり（継続中）

● 拠点長会議の実施



実施者	社長・取締役
対象	拠点長（※）
目的	<ul style="list-style-type: none"> 忌憚なく声を上げられる風土づくり（直接声を上げる場） 経営者と拠点長の情報・意見交換 拠点長からの現場の現況報告 拠点長による職場への伝達（拠点長400名×20名/職場 = 8000名） 拠点長間の繋がり活性化
計画	200名/回 × 2回/月
参加人数	2024年4月～5月 599名 2023年度 3,637名 累計 4,236名

● 職場行脚の実施



実施者	社長・取締役
対象	従業員（拠点長除く）
目的	<ul style="list-style-type: none"> 忌憚なく声を上げられる風土づくり（直接声を聴く場） 経営者と従業員の直接対話 経営者の意思、熱意の伝達 従業員、職場実態への理解深耕 従業員間の繋がり活性化
計画	20名/回 × 400回 = 8,000 名
開催回数 参加人数	2024年4月～5月 1回 20名 2023年度 86回 1,542名 累計 87回 1,562名

※工場長、支店長、営業所長のほか、従業員20名以上の拠点については20名ごとに1名の代表者

- 再発防止の取組みの進捗状況につきましては、当社ホームページを通じて今後も継続的に公表させていただきます。
- 再発防止を着実に実施し、ステークホルダーの皆様の信頼回復にグループを挙げて取り組んでまいります。

【表2】再発防止の進捗（2024年6月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年3月まで）	取組み/結果の概要（2024年5月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
1.調査結果および再発防止の報告・共有¹					
（1）従業員説明					
<ul style="list-style-type: none"> 調査報告書をグループ内で共有する 	・品質問題の説明（職場行脚）計 208 回 2,938 名		改革推進室	完了	2023/1
	・調査報告書、ニュースリリースのイントラ掲載		企画統括室	完了	2023/3
	・社長から従業員への報告（オンライン）		企画統括室	完了	2023/3
	・社長から従業員への報告（職場行脚 ² ） 2023年5月～2024年3月で86回開催し、計1,542名へ報告	2024年4月～5月で1回開催し、20名へ報告（累計87回、1,562名）	改革推進室	実施中	2026/3
	・社長から拠点長 ³ への報告（拠点長会議 ⁴ （対面式）） 4月計3回で365名へ報告		改革推進室	完了	2023/4
	・社長からグループ各社社長への報告（グループ経営連絡会（対面式））		企画統括室	完了	2023/5
<ul style="list-style-type: none"> グループ内から意見等を集約、共有する 	・従業員からの質問・意見等を聴収（職場行脚） ・すべての質問、意見を掲示板で共有		改革推進室	完了	2023/8
	・拠点長からの質問・意見等を聴収（拠点長会議） ・すべての質問、意見を掲示板で共有		改革推進室	完了	2023/8
（2）顧客説明					
<ul style="list-style-type: none"> 自部門の範囲 	・グループ各社・部門が顧客への謝罪と説明を実施 ・説明状況：対象4,106社、説明済4,106社（100%）、うちご了承済4,069社（99%）（3月11日現在）	説明状況：対象4,106社、説明済4,106社（100%）、うちご了承済4,092社（99%）（6月11日現在）	各社・部門	実施中	—
	・当社にて、顧客よりいただいたご質問・ご意見の集約と進捗管理 ・お問い合わせ463件、対応完了457件（99%）（3月11日現在）	お問い合わせ464件、対応完了461件（99%）（6月10日現在）	企画統括室	実施中	—
<ul style="list-style-type: none"> グループの範囲 	・グループ各社と品質保証統括室が共同で顧客への謝罪と説明を実施		各社・部門	完了	—
（3）責任の所在					
<ul style="list-style-type: none"> グループ各社役員処分（元役員を含む） 	・グループの処分方針・基準をベースに、各社就業規則に則して機関決定し、処分を実施		各社・部門 CSR・監査統括室	完了	2023/5

¹再発防止を進めるうえで前提となる、従業員やお客様に現状をご理解いただくこと、不適切行為に関わった役職員の処分、特別調査委員会の調査対象外となった会社・事業所の調査などの取組みについて記載しました。

²当社社長および/または当社取締役がグループ各社の職場を訪問し、当該職場の従業員と行う対話会のこと。1回70分の対話会で従業員約20名が参加。

³工場長、支店長、営業所長などのほか、従業員規模が20名以上の拠点においては従業員20名ごとに1名程度の代表者。

⁴当社が主催し、グループ各社・部門の拠点長が一堂に会して行う会議。当社からの報告、質疑応答、拠点長との意見交換、拠点長間の討議などを行なう。

【表2】再発防止の進捗（2024年6月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年3月まで）	取組み/結果の概要（2024年5月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
（4）未調査事業所の調査					
• 外部専門家の起用	・調査のため外部専門家を起用 ・外部専門家と業務委託契約締結		品質保証統括室	完了	2023/6
• 調査事業所決定	・集計結果および外部専門家の助言等に基づいて調査事業所を決定 アメリカ1社、メキシコ1社、タイ3社6事業所、日本1社2事業所、 中国3社3事業所		品質保証統括室	完了	2023/9
• 従業員アンケート ⁵ 実施	・実施対象者（全役職員）に沿ってアンケート設計		品質保証統括室	完了	2023/7
	・外部専門家と共同でアンケート実施 1,098名（6社10事業所）を対象に実施し、1,041名が回答 （回答率95%）		品質保証統括室	完了	2023/8
• 現地調査	・外部専門家および当社が現地往査にて調査を実施 ・対象全9社13事業所の現地調査終了		品質保証統括室	完了	2024/2
	・外部専門家によるアンケート結果集計 ・アンケート調査結果に基づいて現地調査		品質保証統括室	完了	2023/9
• 調査報告	・中国を含む9社13事業所の現地調査が終了 ・発見事項 ⁶ のうち不適切行為に該当する事象の追加調査を実施中	・10件の不適切行為を発見（うち製造・検査等による不適切行為は9件）	品質保証統括室	完了	2024/3
• 是正	・発見事項については是正	・各事案の是正は実施済。	品質保証統括室	完了	2024/3
• 再発防止	・発見事項について再発防止を実施	・各事案の再発防止に取組み中。	品質保証統括室	実施中	2024/3 ▶ 2024/12
• モニタリング	・再発防止策の定着状況を匿名従業員サーベイ ⁷ でモニタリング	・3回目（2024年10月予定）実施に向けて準備中	CSR・監査統括室	実施中	2026/3
	・品質監査（フォローアップ監査）で是正、再発防止状況を確認	・品質監査（フォローアップ監査）計画中	品質保証統括室	実施中	2026/3
2. 経営改革の推進					
（1）グループ・ガバナンス体制の再構築-グループ連携の強化					
• 子会社のグルーピング	・子会社をグルーピングし監督責任を明確化することの検討	事業・機能組織のグルーピングを公表（2024年5月15日）	企画統括室	実施中	2025/3
	・2023年10月自動車部品会社「日軽金ALMO」設立		企画統括室	完了	2023/10
	・メタル事業部門		企画統括室	完了	2023/4
• 当社組織改組	・「日軽金事業グループ」の細分化	事業・機能組織のグルーピングを公表（2024年5月15日）	企画統括室	実施中	2024/7 ▶ 2025/3
• 各事業グループの機能強化	・グループ責任者への権限移譲	事業・機能組織のグルーピングを公表（2024年5月15日）	企画統括室	実施中	2024/7 ▶ 2025/3

⁵外部専門家が実施する対象事業所従業員向けの記名式アンケート調査のこと。

⁶当社と外部専門家の調査チームによる調査において、従業員アンケート、サンプルテスト、関係者インタビューなどを通じて製造、検査、管理などに問題があると判断された事象。

⁷外部専門家に委託して実施するグループ全従業員向けの匿名アンケート調査のこと。

【表2】再発防止の進捗（2024年6月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年3月まで）	取組み/結果の概要（2024年5月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
	・事業グループ管理機能強化	事業・機能組織のグルーピングを公表（2024年5月15日）	企画統括室	実施中	2024/7▶2025/3
・子会社の管理機能・能力の整備	・子会社組織を括ることによるガバナンス強化、効率的な組織運営の検討	事業・機能組織のグルーピングを公表（2024年5月15日）	企画統括室	実施中	2025/3
（2）当社とグループ会社との関係再構築					
・グループ間連携強化によるシナジーの創出	・グループ各社拠点長間での交流促進（拠点長会議） ・7月より「グループ討議」を実施（継続予定）		改革推進室	完了	2023/8
（3）グループでの経営課題・リスクへの対処					
・グループ横断的なリスクマネジメントの取組み強化	・各種の経営施策に付随するリスク（副作用）への認識強化し、リスク管理を行う ・リスク・危機管理の体制に経営施策や中計/予算管理の事務局（企画統括室）を加え、経営施策の副作用に注視していく体制を整備 ・CSR・監査統括室監査担当を加えて管理強化		CSR・監査統括室	完了	2024/3
	・法令違反リスクを「重点対策リスク ⁸ 」に指定（グループリスク管理規則改定）		CSR・監査統括室	完了	2023/11
	・リスクへの対処について、計画的に進める（マイルストーン、KPIの設定） ・リスクマネジメントミーティング ⁹ 結果を踏まえてグループ危機管理委員会を開催し、リスク/危機のグループ横断的な把握・対応を開始		CSR・監査統括室	完了	2024/3
	・リスク顕在化（危機発生）時の体制・ルール整備 ・体制・ルール整備が完了		企画統括室	完了	2024/3
	・リスク/危機管理体制の運用を開始 ・体制・ルール整備が完了し、運用方法を整備後、緊急時対応訓練を実施	・緊急時対応の体制を再整備中	企画統括室	実施中	2024/9
（4）営業・開発・製造・品質保証・各部門による組織横断的な対応					
・実現可能性を科学的・合理的に検証・判断でき、営業・開発・製造・品質保証が合意できるルール・体制づくり（新規受注時・4M 変更時の対応強化）	・新規性リスク評価プロセスの導入・運用		品質保証統括室	完了	2022/4
・営業・開発・製造・品質保証部門間での組織横断対応（上市後の対応強化）	・生販会議等による受注可否や不適合管理の運用見直し ・品質保証実務担当者会議にて各社・部門の事例を共有予定 ・品質保証実務担当者会議にて、各社・部門の事例を共有		各社・部門	完了	2023/12

⁸ リスクベースアプローチにもとづいて特に蓋然性が高いと評価したリスクで、グループとして当該リスクの主管部署を定め、総合的な管理を行う。（「グループリスク管理規則」による）

⁹ 重点対策リスク（適用法令違反、品質問題、環境問題、自然災害・事故災害、情報セキュリティ問題、安全保障輸出管理、適時開示の懈怠、地政学リスク）の主管部門とリスク管理担当役員の協議体。リスクごと四半期ごとに実施。

【表2】再発防止の進捗（2024年6月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年3月まで）	取組み/結果の概要（2024年5月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業責任者（＝品質保証・管理責任者）は、受注生産調整等に係るリスクを認識し、部門間連携のための役割を積極的に果たす ・新任の品質保証・管理責任者への新規性リスクの説明会完了 		各社・部門	完了	2023/11
（5）品質保証体制の再構築					
①当社品質保証体制の強化					
品質保証統括室の独立性・権限の強化					
<ul style="list-style-type: none"> ・室長の専任役員化 	<ul style="list-style-type: none"> ・室長の専任化による独立性の確保 		品質保証統括室	完了	2023/3
<ul style="list-style-type: none"> ・室長サポート体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部アドバイザースタッフの登用 		品質保証統括室	完了	2023/5
②品質監査の強化					
<ul style="list-style-type: none"> ・品質監査の体制・ルールの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・品質監査基準の見直し（監査内容、監査範囲等） 		品質保証統括室	完了	2023/4
<ul style="list-style-type: none"> ・定期監査 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ各社に対する品質監査を実施 ・1 事業所実施（残0 事業所） 		品質保証統括室	完了	2024/1
<ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ監査 	<ul style="list-style-type: none"> ・不適切行為に対する是正状況の確認 ・再発防止状況の確認 		品質保証統括室	完了	2023/8
<ul style="list-style-type: none"> ・JIS 監査 	<ul style="list-style-type: none"> ・JIS 認証に係る事業所に対する品質監査を実施 ・2 事業所実施し、重大な問題はなかった（残0 事業所） 		品質保証統括室	完了	2024/2
③グループ全体での品質保証体制の強化と整備					
<ul style="list-style-type: none"> ・独立性と権限の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・品質保証部門責任者の専任化 ・独立化に向けて組織体制見直し完了 		各社・部門	完了	2023/10
	<ul style="list-style-type: none"> ・品質保証部門責任者の権限強化（出荷停止権限付与,当社規則改定） 		各社・部門	完了	2023/4
	<ul style="list-style-type: none"> ・品質保証部門の独立性強化（各社社長・事業所長直轄へ） ・独立化に向けて組織体制見直し完了 		各社・部門	完了	2023/10
<ul style="list-style-type: none"> ・体制・ルールの整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状体制・ルールの調査 ・新規性リスク評価導入に向けた規則の見直し（残1 事業所） 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規性リスク評価導入に向けた規則の見直し継続中（残1 事業所） 	各社・部門	完了	2023/4
			各社・部門	実施中	2024/10
<ul style="list-style-type: none"> ・構成員の人事評価見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・独立性・権限を維持できる評価方法への見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・独立性・権限を維持できる評価方法への見直し案検討中 	品質保証統括室	検討中	2025/3
<ul style="list-style-type: none"> ・グループ各社・事業所のグループ化 	<ul style="list-style-type: none"> ・最適グループの調査・検討 ・品質監査などで運用する取扱い製品や製造方法によるグループ化 		品質保証統括室 各社・部門	完了	2023/6
	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の困りごと、相談ごとへの必要な支援実施 ・子会社のクレーム低減活動など事業部への支援を実施中 		品質保証統括室	完了	2023/6
<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> ・「重大品質問題」を含む重要情報を社外取締役へ随時報告 		品質保証統括室	完了	2023/6

【表2】再発防止の進捗（2024年6月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年3月まで）	取組み/結果の概要（2024年5月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
	・社外取締役を報告ルートに追加				
	・事業所品質保証部門と品質保証統括室の連携強化（月報）		品質保証統括室	完了	2023/9
	・月報の運用開始				
● 機構改革	・「グループ品質委員会」機構改革		品質保証統括室	完了	2023/3
	・「品質保証実務担当者会議」設置		品質保証統括室	完了	2023/3
⑤ 品質保証機能への経営資源投下					
● 適正人員の把握の指導・支援	・品質保証部門の適正要員の検証と配置に関する運用案検討中	・品質保証部門の適正要員の検証と配置に関する運用案検討継続中	品質保証統括室	実施中	2025/3
● 人員補充・育成計画策定、実行の指導・支援	・品質保証部門の人材育成・補充計画策定・実施		品質保証統括室	完了	2024/3
	・人材マップの作成				
	・品質教育（JIS、ISO9001等）の実施（8、9月）		各社・部門	完了	2024/3
	・コンプライアンス教育の実施（3月）				
	・QFD ¹⁰ 教育の実施（5、8、11、12月）				
● 検査プロセスの点検と整備	グループ各社の試験・検査プロセスと適合性確認		品質保証統括室	完了	2024/3
	・品質総点検の実施（11月～3月）				
● 検査機器の自動化推進	・事業所の試験・検査プロセス自動化（検査データ処理含む）	・事業所の試験・検査設備の自動化推進の支援継続中	品質保証統括室	実施中	2025/3
	・事業所の試験・検査設備の自動化推進の支援中（例：試験データを自動伝送するシステム構築）				
（6） 不断の検証					
● 再発防止策の検証	・当社社長直轄の「改革推進室」を設置、活動開始		改革推進室	完了	2023/4
	・進捗管理および効果検証	・進捗に大幅な遅れがある項目はない。 ・一部再発防止の実効性について懸念を認識し、追加対策を検討中	改革推進室	実施中	2026/3
	・進捗状況の公表（2024年3月）	・進捗状況の公表（2024年6月） ・次回：2024年9月予定	改革推進室	実施中	2026/3
（7） 当社取締役会による監督強化					
● 計画的な後継者育成・登用	・スキル・マトリックス、育成計画のアップデート	・取締役会実効性評価におけるアンケート結果なども踏まえて対応を進めていく方針	社長	実施中	2024/6 ▶ 2025/6
	・ガバナンス強化の観点で 社長等のサクセッションプラン¹¹を策定				
● 取締役会運営面での改善	・情報提供のタイミング、質・量の改善	・取締役会事務局にて2023年11月にポイントを整理、現在運用中であり、取締役会実効性評価におけるアンケートにて評価を受ける ・取締役会の機能見直しに伴い継続的に改善	CSR・監査統括室	実施中	2024/6 ▶ 2025/6

¹⁰ Quality Function Deployment の略。品質機能展開。顧客の要求を製品に関する技術的な特性、仕様につなげるための品質管理の手法。

¹¹ 人材育成と事業継続の観点から、社長をはじめとする経営幹部の後継者集団を特定し、計画的に育成すること。

【表2】再発防止の進捗（2024年6月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年3月まで）	取組み/結果の概要（2024年5月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
	<ul style="list-style-type: none"> 特別調査委員会やガバナンス専門の弁護士による指摘なども踏まえ取締役会における議論のあり方を明文化、それに必要な資料作成のポイント・送付タイミング等をルール化 内部統制報告の内容、情報量、頻度等の最適化 F23 上半期報告内容を見直し 取締役会からの意見を踏まえ更に改善 	<ul style="list-style-type: none"> 見直し後の報告を2023年11月に実施済、取締役会実効性評価におけるアンケート結果などを踏まえて継続的な改善を図る 取締役会の機能見直しに伴い継続的に改善 	CSR・監査統括室	実施中	2024/6 ▶ 2025/6
3. 内部統制機能の強化					
（1）取締役会の監督のもとでの、実効的な内部統制システム構築・運用					
<ul style="list-style-type: none"> 実効的な内部統制システム構築・運用 	<ul style="list-style-type: none"> 「内部統制システム整備の基本方針」見直し 		CSR・監査統括室	完了	2023/4
	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス体制 グループ行動規範(グループコンプライアンスコード)、コンプライアンス推進計画、コンプライアンスミーティング、グループホットラインの見直しが完了 グループ各社・部門の F23 コンプライアンス推進計画の進捗報告精査中 	<ul style="list-style-type: none"> グループ各社・部門の F23 コンプライアンス推進実績を確認 グループ各社・部門の F24 コンプライアンス推進計画を確認 	CSR・監査統括室	実施中	2024/4 ▶ 2026/3
	<ul style="list-style-type: none"> リスク管理体制 グループリスク管理体制の見直し（グループリスク管理規則改定） グループ危機管理体制の整備（グループ危機管理規則制定） リスク/危機管理体制の運用開始 		企画統括室 CSR・監査統括室	完了	2024/3
	<ul style="list-style-type: none"> 財務報告に係る内部統制システム 「IT 統制の強化」：すべての IT システムの統制を強化 対象システムすべての IT 全般統制の有効化を継続中 	<ul style="list-style-type: none"> 2024年4月までに対象システムの有効化が完了 以降、システム導入・更新は ITGC 有効を必須とする 	CSR・監査統括室	完了	2024/3 ▶ 2024/4
	<ul style="list-style-type: none"> 「ワンオペ撲滅」：一人作業をなくす取組みを開始 小規模会社を対象にしたワンオペの調査および解消に向けた取組みを実施中 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模会社 16 社のワンオペ調査、是正を完了 以降、各社の内部監査時に実施 	CSR・監査統括室	完了	2026/3 ▶ 2024/3
	<ul style="list-style-type: none"> 情報保存管理体制 	<ul style="list-style-type: none"> 情報保存をサーバーからクラウドへ順次移行 	企画統括室	実施中	2026/3
	<ul style="list-style-type: none"> 効率的職務執行体制 	<ul style="list-style-type: none"> 機構改革（6/25 付）の実効性を高める職務執行体制を協議、構築していく。 	企画統括室	実施中	2026/3
	<ul style="list-style-type: none"> その他のグループ内部統制システム 	<ul style="list-style-type: none"> 機構改革（6/25 付）の実効性を高める内部統制推進体制を構築していく。 	企画統括室 CSR・監査統括室	実施中	2026/3
<ul style="list-style-type: none"> 取締役会による監督 	<ul style="list-style-type: none"> 内部統制報告の内容、情報量、頻度等の最適化 F23 上半期報告内容を見直し 取締役会からの意見を踏まえ更に改善 		企画統括室 CSR・監査統括室	完了	2023/11

【表2】再発防止の進捗（2024年6月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年3月まで）	取組み/結果の概要（2024年5月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
（2）企業風土の改革					
①経営方針等の見直し・再定義					
• 「グループ経営方針」改定	・グループ経営方針の改定		企画統括室	完了	2022/5
• 「行動理念」策定	・グループ各社の中堅社員による「行動理念策定プロジェクト」実行 ¹² ・グループ行動理念策定		企画統括室 新・行動理念策定プロジェクトチーム ¹³	完了	2023/4
• 「行動規範（グループコンプライアンスコード）」改定	・関係者による改定案審議 ・グループコンプライアンスコード改定		CSR・監査統括室	完了	2023/4
②新しい企業理念が役職員へ浸透、定着するための取組み					
• 経営者-従業員の対話	・「品質問題」をテーマに職場行脚開催計 208 回 2,938 名(2022/7-2023/1) ・「品質問題調査結果と再発防止」をテーマに拠点長会議開催 365 名参加 ・「新しい経営方針、行動理念、グループコンプライアンスコード」をテーマに拠点長会議開催 324 名参加		品質保証統括室 改革推進室 改革推進室	完了 完了 完了	2023/1 2023/4 2023/5
	・「品質問題調査結果と再発防止」をテーマに職場行脚開催 2023年5～2024年3月で86回1,542名と対話	・2024年4月～5月で1回20名と対話（累計87回1,562名）	改革推進室	実施中	2026/3
• ハンドブック ¹⁴ 配付	・ハンドブックを全従業員へ配付（日本語版） ・ハンドブック翻訳版を配付（英語、中国語、フランス語、ヒンディー語、ベトナム語、タイ語、スペイン語、ポルトガル語） ・配布完了（8言語計4,339部）		企画統括室 企画統括室	完了 完了	2023/6 2023/7
• 反復学習	・会議冒頭での輪読、読合せ グループ経営会議ほか、会議冒頭で輪読、読合せ ・eラーニングによる学習 2024年2月開講。日本軽金属㈱からスタートし、その後グループ会社へ展開を予定 ・冬季コンプライアンスミーティング、拠点長会議（24年1月）で行動変容、職場の変化について振り返り、情報共有を実施	・eラーニングによる学習 データ改ざん防止をテーマにしたコミックコンテンツを日本軽金属㈱で実施（受講率99%）。F24にグループ会社へ展開を予定。	各社・部門 当社全部門 改革推進室	完了 実施中 完了	2024/3 2024/9 2024/3

¹²新・行動理念は、「“全社員参加型”による“日軽金グループらしさの体験”をベースに策定する」というコンセプトのもと、グループ社員から投稿された“日軽金グループらしさの体験”（募集期間：2022年10月31日～2022年11月13日、投稿総数：239件）およびプロジェクトメンバーの体験談をもとに、日軽金グループで働くうえで大切にしたい価値観、行動基準を成文化しています。

¹³2022年5月のグループ経営方針の改定に伴い、新たにグループ行動理念を策定するために2022年10月に結成した「新・行動理念策定プロジェクトチーム」のこと。メンバーは、グループ16社（日本軽金属、日軽物流、日軽パネルシステム、東陽理化学研究所、日軽産業、日軽エムシーアルミ、日軽松尾、日軽エンジニアリング、日本電極、日軽情報システム、日本フルーフ、エヌ・ティー・シー、日軽蒲原、日軽金アクト、日軽新潟、理研軽金属工業）36名が集合。2022年11月から2023年4月まで活動しました。

¹⁴グループ経営方針、グループ行動理念、グループコンプライアンスコード等を収録した携行用小冊子。日本語、英語、中国語、タイ語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、フランス語、ヒンディー語の各版がある。

【表2】再発防止の進捗（2024年6月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年3月まで）			取組み/結果の概要（2024年5月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
<ul style="list-style-type: none"> 浸透、定着のモニタリング 	<ul style="list-style-type: none"> 第3回（2024年8月予定）の匿名従業員サーベイから理念等の浸透度に係る項目を追加 			<ul style="list-style-type: none"> 3回目（2024年10月予定）実施に向けて準備中 第三者による改善モニタリングの実施に向けて準備中 	CSR・監査統括室	実施中	2024/12 ▶ 2026/3
③ 忌憚なく声を上げられる風土づくり							
<ul style="list-style-type: none"> 経営者-従業員の対話 	<ul style="list-style-type: none"> 品質行脚計 208回 2,938名(2022/7-2023/1) 拠点長会議 2023年4月～2024年3月で22回 3,637名が参加 職場行脚 2023年5月～2024年3月で86回 1,542名と対話 			<ul style="list-style-type: none"> 拠点長会議 2024年4月～5月で4回 599名が参加 職場行脚 2024年4月～5月で1回 20名と対話 	品証保証統括室	完了	2022/7
<ul style="list-style-type: none"> 全従業員参加型「コンプライアンス・ミーティング」および「コンプライアンス推進計画」への反映 	<ul style="list-style-type: none"> ◎コンプライアンス推進計画▶⑩（例）ルールと実態の乖離を解消▶⑨匿名従業員サーベイ▶⑧コンプライアンス推進計画修正、F23 冬季コンプライアンスミーティングは、行動変容、職場の変化をテーマに実施 			<ul style="list-style-type: none"> F23 冬季コンプライアンスミーティングを踏まえて、F24 コンプライアンス推進計画を策定、実行中 	CSR・監査統括室	実施中	2026/3
④ 企業風土改革のモニタリング							
<ul style="list-style-type: none"> 匿名従業員サーベイ 	回答率	リーダーの姿勢 ¹⁵	非倫理的行為を誘発する環境 ¹⁶		CSR・監査統括室		
第1回 2021/8	91%	スコア ¹⁷ 65	スコア 48			完了	2021/8
第2回 2022/10	90%	スコア 66	スコア 50			完了	2022/10
<ul style="list-style-type: none"> 第3回以降 コンプライアンスミーティングのモニター 	<ul style="list-style-type: none"> サーベイの実効性向上と効果的活用 冬季コンプライアンスミーティング 上長からの声かけ、雰囲気の変化、質問/報告の増加などの職場での変化の兆候が数多く報告された。 			<ul style="list-style-type: none"> 3回目（2024年10月予定）実施に向けて準備中 夏季コンプライアンスミーティング 自職場のF24コンプライアンス推進計画と課題について話し合う。「事業グループ」（6/25付機構改革）内でのクロスミーティングを推奨。 	CSR・監査統括室	実施中	2025/10 ▶ 2026/3 2024/3 ▶ 2026/3
（3）情報の報告・連携の強化							
①「声を上げる会議」	<ul style="list-style-type: none"> 拠点長会議 2023年4～2024年3月で22回 3,637名が参加 			<ul style="list-style-type: none"> 拠点長会議 2024年4月～5月で4回 599名が参加 	改革推進室	実施中	2026/3
②社長と従業員の対話（職場行脚）	<ul style="list-style-type: none"> 職場行脚 2023年5～2024年3月で864回 1,542名と対話 			<ul style="list-style-type: none"> 職場行脚 2025年4月～5月で1回 20名と対話 	改革推進室	実施中	2026/3
③コンプライアンスミーティングの活性化	<ul style="list-style-type: none"> ミーティング・ツールの充実 冬季コンプライアンスミーティング、拠点長会議（24年1月）で行動変容、職場の変化について振り返り、情報共有を実施 				CSR・監査統括室	完了	2023/6
					各社・部門	完了	2024/2

¹⁵質問文「日軽金ホールディングスの社長は、業績よりもコンプライアンスが優先されることを役員や従業員等に対して本気で要求していると思いますか。」に対して、回答選択肢は「全くそう思わない」「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」「まさにそう思う」の5択となっています。

¹⁶非倫理的行為を誘発する環境に関する11の質問のうち、質問文「規則やマニュアルと異なる実態が存在していると思いますか。」に対して、回答選択肢は「全くそう思わない」「そう思わない」「どちらともいえない」「そう思う」「まさにそう思う」の5択となっています。

¹⁷質問ごとに、選択肢の加重平均スコアを算出したもの（100点満点）。

【表2】再発防止の進捗（2024年6月版）

（凡例） タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注） 前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年3月まで）	取組み/結果の概要（2024年5月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
	<ul style="list-style-type: none"> 他職場間の意見交換（クロス・コンプライアンスミーティング） 夏季ミーティングでの実施に向け準備中 	<ul style="list-style-type: none"> 「事業グループ」（6/25付機構改革）内でのクロスミーティングを推奨。 	CSR・監査統括室	実施中	2025/9
④レポートラインの明確化、実効性向上	<ul style="list-style-type: none"> グループ危機管理委員会で協議、決定 		CSR・監査統括室	完了	2024/3
⑤速報システムの見直し	<ul style="list-style-type: none"> グループ危機管理委員会で協議、決定 グループ危機管理委員会で協議、決定 		CSR・監査統括室	完了	2024/3
⑥管理職への研修強化	<ul style="list-style-type: none"> 学習管理システム導入 	<ul style="list-style-type: none"> 学習管理システム運用開始（日本軽金属(株)） 順次対象会社を拡大予定 	企画統括室	実施中	2024/9
	<ul style="list-style-type: none"> eラーニング開始 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修コンテンツを配信：受講率 99%(範囲：日本軽金属(株)) 順次対象会社を拡大予定 	当社全部門	実施中	2024/9
⑦危機管理対応の体制強化 → 2.（3）「グループでの経営課題・リスクへの対処」へ統合					
（4）コンプライアンス強化活動の推進					
①調査報告書公表の日を「品質の日」とする	<ul style="list-style-type: none"> トップメッセージ発信 ケーススタディによる職場討議 コンプライアンス講演会：2回で1,783名が参加 ポスター配布/サイネージ配信 啓発ツール（キャッチフレーズ決定、アイコン化、アイコンシール配布、アイコン入りクッキー配布） 		改革推進室	完了	2024/3
②JIS 遵守体制の強化 → 2.（5）「品質保証体制の再構築」へ統合					
③コンプライアンス教育の強化					
<ul style="list-style-type: none"> 「重点対策リスク」指定 	<ul style="list-style-type: none"> 法令違反リスクを「重点対策リスク」に指定（グループリスク管理規則改定） 		CSR・監査統括室	完了	2023/11
<ul style="list-style-type: none"> 新/改定法令等情報モニタリングと展開の体制 	<ul style="list-style-type: none"> 適用法令等改正情報収集、共有、対応支援 適用法令を収集一元化、併せて、対応に課題を抱える部門・法令を特定 外部サービスを活用しつつ情報収集・展開の体制整備・強化を順次実施 		CSR・監査統括室	完了	2023/9
	<ul style="list-style-type: none"> 法令遵守について行動規範（グループコンプライアンスコード）で再定義 		CSR・監査統括室	完了	2023/4
<ul style="list-style-type: none"> グループ子会社の法令等遵守管理体制 	<ul style="list-style-type: none"> 適用法令等遵守状況の点検 各社適用法令を洗い出し・一元化、管理に課題がある分野を特定 外部サービスを活用しつつ管理体制の整備・強化を順次実施 		CSR・監査統括室	完了	2023/9
	<ul style="list-style-type: none"> 経営者に対する法令遵守再教育 当社グループ役員に対する社内研修に有識者を招き、善管注意義務ほか経営者の責任について再確認する機会を提供（毎年継続） 		CSR・監査統括室	完了	2023/9

【表2】再発防止の進捗（2024年6月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。
 （注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年3月まで）	取組み/結果の概要（2024年5月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
	<ul style="list-style-type: none"> 当社グループ会社の役員が一堂に会する研修にて、ガバナンス専門の弁護士より「経営者に求められる法令遵守-取締役の義務を尽くすための判断プロセス」をテーマに講演（2023年10月） 従業員に対する法令遵守教育 当社グループ新任管理職に対する社内研修において、品質問題から得られた教訓を再確認する機会を提供（毎年継続） 当社グループ管理職研修にて特別調査委員会による指摘も踏まえて「データ改ざん・ねつ造の法的責任」をテーマに講義（2023年10月） 		CSR・監査統括室	完了	2023/9
品質コンプライアンス教育	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス講演会 ①「行動科学の視点から倫理問題を考える」3回計 1,113名参加 ②「コミュニケーション不全是不祥事につながる」2回計 1,680名参加 		品質保証統括室 CSR・監査統括室	完了	2021/12
	<ul style="list-style-type: none"> ③「違反事例とコンプライアンス」2回計 1,783名が参加 		品質保証統括室 CSR・監査統括室	完了	2022/12
			品質保証統括室 CSR・監査統括室	完了	2024/3
（5）内部監査部門の強化					
第3ラインによる第1・第2ラインの監査	<ul style="list-style-type: none"> 第2ラインの監査に第3ラインとして継続的に立ち合い 監査の体制を確認 	品質保証統括室および環境保全・安全衛生統括室等の第2ラインによる第1ラインの監査に帯同し監査体制を確認（継続実施中）	CSR・監査統括室	実施中	2026/3
監査結果の取締役会・監査役会報告	<ul style="list-style-type: none"> 半期に一度、内部統制の状況報告の一環として監査の状況を報告 11月取締役会へ報告 		CSR・監査統括室	完了	2023/11
（6）内部通報制度改革					
通報者保護等の強化	内部通報制度改定		CSR・監査統括室	完了	2022/6
	内部通報制度専用情報管理システム導入		CSR・監査統括室	完了	2022/4
内部通報制度の周知、啓発	啓発資料作成、配信		CSR・監査統括室	完了	2022/6
アクセシビリティ向上	内部通報制度および運用状況の公開情報拡大		CSR・監査統括室	完了	2023/3
	従事者に技術者配置		CSR・監査統括室	完了	2023/5
	<ul style="list-style-type: none"> 社長・経営者からの呼びかけ（拠点長会議、職場行脚） 3Q-F23までのアクセス件数は前年同期比46%増 	F23のアクセス件数は前期比23%増	CSR・監査統括室	実施中	2026/3
	<ul style="list-style-type: none"> リニエーション制度のPR 夏季コンプライアンス・ミーティングで周知 		CSR・監査統括室	完了	2023/8
（7）外部リソースの活用					
専門人材の登用	中途採用、グループ内登用		当社全部門	完了	2023/9

【表2】再発防止の進捗（2024年6月版）

（凡例）タイトル「進捗」：「完了」対策が完了、「完了」今回報告で完了、「実施中」対策を開始し実施中、「準備中」対策の方向性・内容等を固めて実施に向け準備中、「検討中」対策の方向性・内容等を検討中。

（注）前回報告から更新/修正/訂正した箇所は赤字で表記（「取組み/結果の概要（2024年3月）」の欄は除く）

再発防止策	取組み/結果の概要（2024年3月まで）	取組み/結果の概要（2024年5月末）	担当部署	進捗	完了(目標)
	・品質アドバイザーを登用				
・外部サービスの利用	・未調査事業所調査にコンサルタントを起用 コンサルタントと共同で品質調査に着手		品質保証統括室	完了	2023/6